こうとう民報

０８年１月号 NO.４４

発　行
こうとう民報編集委員会
責任者　今井　栄一
住所 江東区亀戸7-39-1-501
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

子どもたちに平和な未来を

新日本婦人の会は、くらし・子どものしあわせ、女性の権利、平和・核兵器廃絶、憲法改悪反対などをかかげて昨年創立45周年をむかえました。江東支部の活動をご紹介します。

子ども医療費無料化など母と子の幸せ守って

新日本婦人の会 江東支部

昨年、長年の運動が実って、子ども医療費の中学生まで無料化・妊産婦検診助成を実現しました。「墨東病院を都立のままで存続し安心して出産できるよう」宣伝や署名運動にとりくんでいます。11月に行われた平和の集いで「沖縄証言集」の朗読に参加。戦争・被爆体験を語る運動にも積極的に参加しています。

赤ちゃん小組は今14組の親子が週1回、リズム体操を行っています。

毎月1回発行している「ぷにぷに」の編集後記には「発足以来ずっと平和の問題に取り組んでいます。憲法9条をなくして戦争に参加できるようにする動きの中で、やっぱり子どもたちに手渡したい未来は平和な世の中だと思います」とあり、若いお母さんの熱い思いが伝わってきます。

新日本婦人の会ホームページより

わくわく体験会大盛況!!

12月1日、砂町区民館で「新婦人わくわく体験会」を砂町地域の7つの班合同でひらき50人が参加しました。布ぞうり、絵手紙、書道、産直やメイクコーナーも開かれました。

こうした合同体験会を4つの地域で開き、4万枚の宣伝チラシを新聞に折り込み。各地で新たな会員が増えています。

美脚と健康によい「布ぞうり」作りも爆発的な人気。いらなくなった木綿地を持ち寄っておしゃべりに花を咲かせながら作ります。

「食の安全」には大きな関心が。今年は大型バスで産地訪問、とうもろこしもぎ、ウインナーづくりを体験しました。

12月16日の「肉まん」づくりは総合区民センター調理室満杯の45人が参加しました。

マンション規制緩和に反対

第４回定例区議会で、山崎区長は、マンション規制を大幅に緩和した新たな条例を議会へ提案し、与党の賛成多数で可決、成立しました。新条例は、「受入困難地区指定制度」に代えて、マンション建設を事実上区内全域で認めるものです。

現在、区立認可保育園に入所できない待機児童が全都一の千人を超え、小学校も通学地域の変更やプレハブ校舎をリースして授業を行っているのが現状です。

日本共産党は、本会議質問や委員会審査でマンション急増の背景となってきた「都市再生」や「臨海副都心開発」を推進してきた区の責任を追及。区の責任で人口増に見合う学校、保育園などの公共施設の建設を求めました。委員会審議では、少数意見を付し、区長提案の新条例に反対、市民会派も同調しました。

みなさんとともに８つの成果

①要介護高齢者は住民税の障害者控除の対象者として認定

②後期高齢者の健康診断は無料。検査項目もこれまで通り実施

③日中ひとりきりの要介護高齢者の家事援助について、家族が障害や病気でなくても、事情により家事が困難な場合には利用を認める

④亀戸と門前仲町に来年４月から私立認可保育園が開園

⑤認可外保育園の保育料の保護者負担を軽減

⑥亀戸第四保育園の民間委託作業を中止

⑦助産師の妊婦検診にも公費負担を適用

⑧ワンルームマンションの面積・駐車場などの規制を強化

区民の切実な願いと結んで日本共産党８名の議員団が繰り返し議会で取り上げてきた成果です。

潮騒

大晦日に年越しそばを食べる習慣が定着したのは江戸中期で、当時、月末の忙しい時期、そばを食べた「三十日(みそか)そば」の習慣に由来するという▼そばを食べる理由は、「細く長いことから、健康長寿への願いをこめて」「切れやすいので苦労や災厄を断ち切る意味で」「荒れ地でも育つそばの生命力にあやかろう」などの説が伝えられている▼江東区高齢者集会で、後期高齢者医療制度の内容を知った70代の女性は、「高齢者はあまりにも冷たくされて、早く死ねといわれている気持ちでいっぱい」と感想を述べている▼江戸時代に尊ばれた健康長寿が、今は、悪いことのように思わせられている。自公政権がアメリカ、大企業への大盤振る舞いによる財政難を、社会保障財源の増大にすりかえて大宣伝しているからだ▼年越しそばではないが、自公政治は切れやすくなっている。予想される総選挙で自公政治を断ち切り、健康長寿が喜ばれる政治の流れをつくらなければならない。

〃墨東病院は都直営で〃
シンポジウム開催

12月7日、すみだ産業会館で「いのちのとりで墨東病院を直営で守るシンポジウム」が開かれ、墨田、江東、江戸川区から120人が参加しました。

石原都政は、都立病院の直営をやめて独立行政法人や民営化する計画を進め、墨東病院も地方独立行政法人化の方向です。これに対して墨田・江東・江戸川区の住民を中心に住民のいのちのとりで「墨東病院を都直営で存続させる」運動が進められています。これまでに病院門前や錦糸町駅、亀戸駅などでの宣伝・署名活動を通じて7000筆を越える署名が寄せられています。シンポジウムでは、4人の方々が発言しました。

産科診療が縮小

最初に発言した看護師の喜入ヒロミさん、墨東病院が医師不足ですでに産科診療が縮小されており、「法人化」されたらもっとひどくなる、と訴えました。

出産難民が

荏原病院の医療の充実を求める会の佐藤勲代表は、公社化された大田区の都立荏原病院では、産科が休診となり、区内では「出産難民」といわれる事態が起きていることを紹介しました。

都立大学学部機能喪失

首都大学東京労組の小林喜平書記長は、2年前に都立大学を廃止して最初に地方独立行政法人化した「首都大学」では、3分の2の職員が非正規雇用化され、多くの教職員が退職し、学部の機能が失われていると告発しました。

墨東病院の優れた機能を生かす

民医連・江東診療所の吉沢敬一所長は、墨東病院との連携で患者の命を救った例を紹介し、独法化で経営効率優先になれば救急患者が拒否される可能性がある、「墨東病院の優れた機能を生かすためにも都立のまま充実させることが大事だ」と強調しました。

平和・くらし風土記 25

江東金属労働組合

働く若者たちが手を結んで

当時の江東区には石播や三菱重工、日立、東芝などの大工場と関連の中小零細工場が密集し、そこに多くの未組織労働者が劣悪な労働条件のもとで働いていました。

砂町地域に住むいくつかの職場の10数人の青年たちが1963年2月に、「金属労働者は団結して生活と権利を守る組合をつくろう」と結成したのが、建交労東部支部の前身の一つである江東金属労働組合です。

最初に掲げた要求は、独身者で日給1000円、月25000円の保障。家族手当や盆暮れの最低1ヶ月分の手当支給。有給休暇や職場の福利施設、作業着・保安帽・手袋・安全靴の支給など切実で具体的なものでした。

結成当時のビラより

この要求運動は協同装飾、協栄船舶、斎藤組、第一鉄骨などにひろがり、1年も経ずして20社・300人を越える組合に成長しました。

64年3月公然化した40人の第一鉄骨分会の、石鹸や作業手袋支給要求に対し、会社側は2人の活動家の解雇という暴挙にでました。生まれたての分会は全金日本鉄塔支部などの支援をうけて、2ヶ月にわたりたたかって解雇撤回と要求をかちとりました。

このように江東金属労組は発足早々から不当解雇とたたかい、身近な要求運動にとりくんできました。

71年9月第6回定期大会では業種の枠を超えた、1人でも加入できる組合に発展するために、「江東一般合同労働組合」に名称も性格も変え、80年には全日自労建設一般労組に統合して、今日の建交労への礎となりました。

憲法とともにくらしと教育を守って60年
都教組江東支部結成60周年記念レセプション

12月14日夜、都教組江東支部結成60周年記念レセプションがティアラ江東でおこなわれました。

来賓には高橋江東区教育長、中山都教組委員長、新野区労連議長、元江東支部執行部、区内労組、団体の代表が列席。江東地区委員会からは東元都議会文教委員長と畔上正保区議が参加しました。

挨拶する大橋執行委員長

会場では江東退職教職員の会員や現職組合員が交流の輪をひろげました。

1947年3月、深川区と城東区が合併して江東区が誕生しました。

日本国憲法、教育基本法制定をうけて同年9月、焦土から学校教育の復興に尽力した600人の教職員が、毛利小で江東区教職員組合を結成してから60年です。

主任手当拠出金によって編纂された「江東区の歴史」や「炎の街」など、数々の記録が、そのたたかいと運動を語りかけてきます。

レセプションは大橋執行委員長挨拶、来賓祝辞、高岡元支部長の詩「いま、新しい出発のとき」の力強い朗読で開会。情熱的なラテンアメリカの音楽、フラメンコの踊りで佳境にはいりました。

支部執行部が編集した、早乙女戦災資料センター館長や女性部役員が登場する映像をまじえた構成劇は、60年のたたかいと石原都政の「教育改革」の実態を描きだしました。

「青い空」の全員合唱のあと、勝俣副委員長は閉会にあたって、「今60年の歴史をつくってきた人々が一堂に会しました。『47年教育基本法』をみんなでとりもどしましょう。すべては子どもたちのために、そして教職員のためにがんばりましょう」と訴えました。

1・2月の行事案内

■1月18日（金）18時30分、マンションなんでも相談会、江東文化センター

■1月19日（土）13時「生活保護制度が危ない」区民学習会、パルシティ江東

■2月1日（金）18時15分、憲法9条守る団体・地域からの学習交流集会、カメリアプラザ2F、講師畑田　重夫（国際政治学者）

■13日（水）18時、日本共産党演説会有明コロシアム

■17日（日）10時、江東母親大会、江東女性センター